



# 通信

HP 学校だより  
R7. 5. 29  
NO. 8  
文責 伊藤美佳



## 失敗を成長につなげる

運動会も終わり、少し落ち着いて学習できる季節となりました。また、外で遊ぶにも快適な気候です。最近、登下校時に生き物の飼育ケースを大事にもっている子どもたちをよく見ます。「トヨサカ」の法面（のりめん）やビオトープで生き物を探す子どもたちが一番活発に活動する時期になったということです。

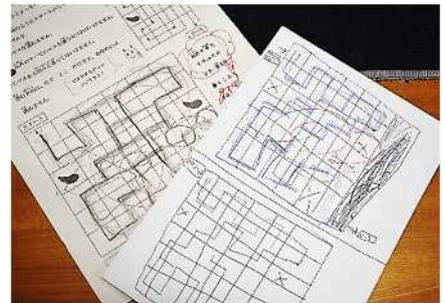
ツツジで作られた「トヨサカ」の文字は、豊坂小学校の自慢の一つです。しかし、こ



こ数年はツツジの花が以前のように咲かなくなってきました。なぜかなと考えていたら、地域の方から「しっかりと剪定しないとだめだよ」と教えてもらいました。今年は、花が終わってから葉が茂っているところをバツサリと剪定しました。剪定したところを見ると、下の方まで太陽の光が届いています。こんなに切ってしまうと大丈夫なのかと思いましたが、英断が大切なのだ庭師の方に教えていただきました。花が咲かなくなったことは失敗だったかもしれませんが、失敗から学んで成長につながると教えてもらった気がしました。来年、「トヨサカ」の文字にたくさんの花が咲くことを期待します。

失敗をするということは、行動しているということ、前進しているということです。

右の写真は、通信の裏にある「ナス迷路」がうまくゴールできなかったが、自分で別の紙に問題を書き写し、解けるまでチャレンジした子が提出してくれたものです。最近、失敗を恐れて「やらない」という選択をする子どもが増えた気がしていました。このように失敗から成功するためにどう行動するか考えて再度挑戦し、成功まで到達できた姿を見せてくれたことは、とてもうれしかったです。



何もしなければ、成長はありません。大人が、失敗を成長であると認め、次にどうするのか一緒に考えていけることが大切だと思っています。ご家庭でも「失敗は成長である」ことを伝えていただきたいです。

## 生き物を育てる

どの学年も、植物を育て始めました。1年生はアサガオの本葉がすでに出ていて「ジャングルみたいになった」と喜んで観察しています。2年生は自分の育てたい野菜を育てています。観察しながら実がなることを想像しています。3年生、6年生はナス、4年生はツルレイシ、5年生はイネを育て始めました。植物は物が言えません。状態を見て水をあげたり、肥料をあげたりしなければ、収穫はありません。観察や想像することの大切さを学ぶとてもよい機会です。

また、手乗りのトカゲを大切そうに見せてくれる子、ダンゴムシの雄雌を教えてくれる子、ビオトープの池に何度も網を入れて生き物を探している子など、身近な命と向き合っている子どもたちを多く見かけます。命の大切さを学ぶ大切な経験だと思います。ご家庭でも温かく見守っていただきたいです。